

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
うるま市	兼箇段地区	平成24年12月25日	令和3年3月8日

### 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	7.2388ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	4.4151ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	1.9991ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	1.9991ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0.975ha
(備考)	

### 2 対象地区の課題

兼箇段地区は菊農家の割合が高く、近年農家の高齢化による後継者不足に悩まされている。  
菊農家が利用していた農地を、菊農家以外が借りようとした場合、坪単価が100円以上と高く、新規参入が難しい状況となっている。

注:「課題」欄には、「現状」を基に話し合いを通じて提示された課題を記載してください。

### 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

中心経営体へ中間管理機構を通じ貸借を進める。

耕作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入を促進することにより、将来的な担い手の高齢化に備える。